



International Program in Liberal Arts

第2回チューターガイダンス

高度教養教育・学生支援機構
グローバルラーニングセンター
末松和子



本日のアジェンダ

- 留意事項の確認
- 活動の充実にむけて
- これまでの活動の振り返り
- 帰国支援
- 来学期のチューター活動



留意事項① 留学生の支援

- 生活支援
 - 寮費、公共料金、国民健康保険等の滞納 →忘れがち
- メンタルヘルス
 - 学業不振、欠席、体調不良 (守秘徹底→相談)

生活が落ち着く頃にホームシックになる学生もいる。気になる変化は、早めの共有を。チューティーと2週間以上連絡が取れない場合は留学生課に連絡を！！



留意事項②チューター

参考（再掲）

- 活動内容：日本語学習支援、専門分野における学習支援、生活適応支援（**支援活動**のみ謝金支給対象となる）
- 活動時間：週2時間程度の定期的な支援活動
 - ★謝金支払いの対象となる活動の上限は原則 **1学期あたり48時間**（活動が謝金の支給対象となるかは活動報告書の内容をもとに判断）
 - ★チューター活動は、日常的な学習・生活支援を主目的とするため **22時以降の深夜時間帯の活動は急を要する場合を除き控えてください。**
- 謝金：1時間あたり1,100円（4/1改正）※学部・大学院共通
支払いは学期ごと（前期分は10月末）
- 活動報告：**活動日ごと**に報告書を入力のうえ提出



留意事項②チューター

参考（再掲）

<活動時間・謝金>

- 1回の活動時間は2時間を目安とすること
- 単なる娯楽、飲食など、自分も楽しむ目的の活動は謝金対象外
- 報告書の記載不備は謝金対象外となる場合があるので注意

<留学生とコミュニケーションをとるポイント>

- チューターから積極的にアウトリーチ
- すぐに連絡が取れる手段を確保（LINEなど）
- お互いの授業が確定したら、毎週のミーティングをルーチン化
- 支援が必要な時だけ会うのではなく、継続して活動する



留意事項②：チューター リマインド：報告書

「活動報告書をどの程度書いたらいいのかわからない」

<参照>

- ・ 第1回チューターガイダンス資料
- ・ 記入例

<重要>

活動内容が分かりにくい報告書（例：情報が少ない、その前の活動内容のコピペ）は、内容を確認させていただく場合があります。

報告書の提出はチューターの状況を確認するとともに、チューターのみなさんの状況も把握することになるので、具体的に記載してほしい



活動の充実に向けて

日本語学習支援（習熟度別・目的別）

初習～初中級者：

- 会話：
 - 1週間のハイライトにつき報告し合う
 - テーマを決めて話し合う（例：「自分の仲がいい友だち」、「家族について」、「自分が一番好きな祝日とその理由」、「思い出の旅行・お勧めの旅先」など
- 読み書き：
 - 主にひらがなで書かれている絵本を一緒に読む
 - 1週間のハイライトを交換日記形式で報告し合う

★教科書を見せてもらう、テーマはお互いが話し合って決める



日本語学習支援（習熟度別・目的別）

中級～中上級者：

- 会話：
 - 1週間のハイライト（言い違えている表現をメモして後で教えてあげる）
 - 意見が分かれるようなテーマを考え話し合う（例：中等教育機関での制服着用、成人・飲酒・喫煙・結婚・投票可年齢の違いやそれに対する賛否）
 - 最近のニュース（最初は面白ニュースから）
- 読み書き：
 - 交換日記に加え、歌詞など分かりやすい文章から、簡単な小説と一緒に読む、その感想文を書いてもらうなど



日本語学習支援（習熟度別・目的別）

上級者：

- 会話：
 - ・ 1週間のハイライト（言い違えている表現をメモして後で教えてあげる）
 - ・ 意見が分かれるようなテーマを考え話し合う
 - ・ 一緒に架空の調査やプロジェクトを企画する
 - ・ 時事問題（新聞記事を使って議論）
 - 読み書き：
 - ・ 日本語能力試験、ビジネス日本語等の資格試験対策
 - ・ 作文を書いてもらい添削（対面で話をしながら。その際、訂正するだけでなく、「ではこれを使って他の表現を考えてみて」と知識の定着を確認
- ★ LINEやメールといったテキストのやり取りのみでは、活動として認められないので注意してください。



活動の充実に向けて

- 活動の輪を広げる支援
 - IPLANETの交流活動
 - サークル活動
 - 地元のイベントと一緒に参加（フリーペーパー）
- ヘルプデスクの活用
 - チューターと一緒にいき、サポートを受けられる場として活用する
- 最近留学生と連絡が取れていない、会う約束をしてもドタキャンを繰り返す、授業に行けていない、などのケースは本人に許可を取ったうえで、大学に相談を！



帰国支援

<IPLA生向けサイト>

Leaving Procedures:

https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/exchange/leaving_procedures/

・口座解約 ・区役所手続き ・楽天モバイル Wifiなど→ **特に重要**

<チューター専用サイト>

<https://www.insc.tohoku.ac.jp/english/ipla-tutor/>

- ★最終発表会（8月4日）よりも早く帰国する学生は、協定校からのレターをもって事前申請する必要があるので、留学生に確認を！
- ★最終発表会後にIPLANETリーダー主催のお別れ会があるので、8月5日以降の帰国を推奨



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語初習者向け>

- 仙台に来たばかりなので日本語と英語、母語のイタリア語を用いながら街案内しつつ飲食店やドラッグストア、交番の場所などを確認して安全に留学生活が送れるようにしました。
- ご飯を食べ、日本語を教えた。2枚様と2人の違い聞かれた。日本語の中でも敬語の使い方が難しいと言ってたが、勉強を頑張っているように見えた。日本語での注文の仕方少し教えた。ゴールデンウィークの予定をお互い話した。
- 日本語学習用のテキストを使いながら、新文法について指導をした。「~のように」や「~みたいに」という比喩表現について「彼は、日本人のように流暢に日本語を話す」や「先生みたいになりたい」という例文を用いて音読練習を一緒にしました。



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語中級者以上向け>

- 萩ホール前の広場の一角のベンチで日本語の授業で扱っているテキストのうち第1課の「話す」の部分を対話形式で練習した。特に、自己紹介とGW、週末にやったことを日本語縛りで話をした。先生に話す想定の自己紹介では謙譲語を使いこなしていたり、過去形の時制もすらすらと出てきていた。ただ、前置詞や外来語のイントネーションで気になる部分があったのでその都度指摘した。
- 図書館のグローバル室で、初めてチューティーと顔合わせをした。まずは、英語で軽く自己紹介から始めた。その後、来週の水曜日に学習予定の日本語の文法の予習の手伝いをした。「～なら」、「～といえば」などの、英語に翻訳しやすいものからしにくいものまで様々な文法の解説をした。
- 助詞や語尾の表現を解説したことによりチューティーの表現力が豊かになった。日本語の助詞を英語で解説する難しさを改めて認識した。
- 履修する授業に価値を見出して、目的を持って取り組む様子が見受けられた。せっかく日本に来て、時間をとって履修するのでやり甲斐を持ってこれからも頑張りたいと思った。



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <学習面：日本語中級者以上向け>

- 前述のご家族の来日時にしっかりと日本語で日本人の店員さんと交流や注文ができていたとのことだったので、昨年の来日時と比べて飛躍的に日本語能力が向上していることが改めて実感できた。
- 会話をする際には、日本語の勉強の中でスラングよりも何よりも「敬語」が難しいとのことだったため、敬語を会話の中に取り込み間違っている際は指摘するなどした。
- 今学期の日本語の授業のわからない漢字についての解説を、漢字の由来や英語と比較しながら教えてあげた。また、日本語の未来形や英語のwillにあたる日本語訳をどのようにしたらよいかという質問にAIに力を借りながら教えてあげた。加えて、カフェなどのメニュー表のカタカナの言葉を翻訳のアプリを使わなくても理解できるように練習した。



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <コミュニケーション編>

- 日本の「いただきます」という習慣を紹介した際、留学生が日本の文化に触れることを強く望んでいると理解しました。当たり前だと思っていた日本の習慣を言葉で説明することで、自分自身も自国文化を再認識する良い機会になりましたし、文化の適応を助けるチューターの役割は重要になるのだと改めて再認識しました。
- 英語ではなく日本語で話したいと聞いていたので、私から話すときは内容が伝わらないと困る事務的な会話以外は日本語で話しかけているが、やはり少し難しい会話を日本語で話すのは大変なようで、特に長い文章の時はよく英語を使っている。こちらが返事をするときは日本語で返していて、ある程度は問題なく伝わっているようだが、様子を見て伝わっていない時はもう一度簡単に話すなどフォローしていきたい。
- 学習者は基本的な語彙力は備えているものの、瞬時に文章を組み立てることに課題があると感じた。そのため、正確さだけでなく、多少の誤りを許容しながら発話量を増やすことが重要であると学んだ。また、安心して話せる雰囲気づくりが会話量の増加に直結することを実感した。



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター活動内容編 <その他>

- 寮の入居手続きでは、ゴミの分別など、生活に直結する重要な説明が多くありました。それらを単に英語に直すだけでなく、留学生が実際の生活で困らないよう、背景を含めて補足説明することの難しさと重要性を学びました。異文化適応能力を自分も向上させることが求められているのだと理解しました。
- 授業が開始して1ヶ月というところで、不安や現在の課題などについて、飲食店で聞いた。その飲食店はお好み焼き屋さんに行き、日本文化的な食べ方や関西仕込みの食べ方を教えた。また、論文を書いていくうえでの日本特有のツッコミについて、三段落ちなどを含めて知っていることを教えた。
- 速い日本語の会話を聞いた後は、とりあえず「わかりました」や「はい」と言ってその場を耐える。が、確認していくと話の内容をあまり理解できていない時があるため、リスニングする際のコツといったことをもう少し具体的に練習していくべきだと思った。



振り返り： 留学生との交流で気付いたこと・悩んでいること

チューター—活動内容編 <その他>

- 家賃の振り込みを仙台駅の三井住友銀行で手伝った。初めての自転車での移動だったため、自転車の細かいルール等を教えながら在留センターに向かった。（左側通行、信号、アーケードは自転車降りないといけない等）在留センターでは、在留資格延長の確認と今後の手続きの確認を行なった。
- 担当しているチューターが前セメスターからの継続生であることもあり、基本的な日本での生活についてはサポートすることが少ないように感じました。これからより中を深めていき、様々な角度からサポートできるようにします。
- ドラッグストアモリの場所を確認するとともに、割引券の使い方や会員カードの作り方についての話をし、実際に割引券を使用した。また、生活に必要な洗剤、調味料、飲料といったものがどこにあるかを一緒に確認した。調味料の中には習っていない漢字や言葉が用いられていることがあったため、その読み方と意味について店内を歩き回りながら確認した。また、店員さんとのやり取りにおけるコツ（どんなことが尋ねられるか等）についても確認し実践を行えた。



秋学期(2026)チューター募集について

秋学期（2026）参加者67名*5/14時点

フランス、台湾、中国、インドネシア、カナダ、スイス、タイ、ドイツ、香港、フィンランド、イギリス、イタリア、スウェーデン、スペイン、ベトナム、韓国、オランダ、チェコ共和国、ベルギー、マレーシア

【今後のスケジュール】

- 合格発表(IPLA生へ) : 4/20に通知済み
- 6月初旬～中旬 : チューター継続意思確認※全員回答必須※
- 7月初旬～ : チューター募集開始
→ IPLANETリーダーへ周知依頼 & GLCホームページ掲載
- 7月下旬 : チューター募集締切
- 8月中旬～9月上旬 : チューターマッチング・発表
- 9月下旬～ : チューティー渡日
- 9月下旬～ : チューター活動開始